

新潟県

教育月報 2 月号

第 884 号

令和 6 年 2 月 1 日発行

編集人、発行人

新潟県教育委員会

＜今月号の記事＞

	対象校種
1：教育ニュースライン	P 1 全種
2：「いじめ見逃しゼロキャラバン（出前授業）」「県民講座」、「県民サポーター」の募集について	P 2 全種
3：キャリア教育の充実	P 3-4 小中
4：令和 5 年度専門高校ジョイントミーティング	P 5 高校
5：スーパーサイエンスハイスクール（SSH）事業	P 6 高校
6：多様な教育的ニーズに応じた県立教育センターの研修講座	P 7-8 全種
7：インフォメーション	P 9-11 全種

教育ニュースライン

県教育に関する最新ニュースをお知らせします。

「県立高校の将来構想」策定有識者会議を開催しました

新潟県教育委員会では、県立高等学校等における今後の学校・学科のあり方について、中長期的な計画を検討するため、12 月 21 日に第 1 回「県立高校の将来構想」策定有識者会議を開催しました。

○「県立高校の将来構想」とは

県教育委員会では、中長期的な視点で今後の高校教育のあるべき姿を検討し、これからの教育の充実を目指す魅力的な学校づくりの方向性をまとめた「県立高校の将来構想」を策定しています。

○「県立高校の将来構想」の見直しの背景

現行の平成 28 年に策定された「県立高校の将来構想」では計画期間を平成 30 年度から令和 9 年度までとしていましたが、予想を上回る急速な人口減少や、教育を取り巻く環境の変化等を踏まえ、当初の計画から 1 年前倒しし、新たな将来構想を策定することとしました。

○有識者会議について

有識者会議では、事務局から「県立高校の将来構想」の検証に基づく現状と課題について説明し、有識者から望ましい学校規模や、地域の交通事情や特性を踏まえた県立学校の再編整備のあり方等についてのご意見をいただきました。

○委員からの主な意見（抜粋）

・「柔軟な学びを可能とする高校」については、これからの教育に求められているものであり、ある特定の高校のみに求められているものではない。

・各校の役割については、現在の「高校の 5 つのタイプ」から、「スクール・ミッション」を中心に考えた方がよい。

・小規模校であっても、エリアの特性や地理的条件等を鑑み、遠隔教育や交流学习のスキームを入れる等、教育の質を保証する仕組みが確保できれば残すという考え方もある。

○今後のスケジュールについて

令和 7 年 3 月末の公表に向け、今後も有識者会議を開催するとともに、学校関係者及び生徒・保護者へのアンケート調査、地域説明会やパブリックコメントの実施等を予定しています。



【第 1 回「県立高校の将来構想」策定有識者会議の様子】

「いじめ見逃しゼロキャラバン（出前授業）」「県民講座」、「県民サポーター」の募集について 生徒指導課

はじめに

生徒指導課が事務局を務める「深めよう絆 にいがた県民会議」は「いじめ見逃しゼロ県民運動」を推進しています。

次年度の「いじめ見逃しゼロキャラバン（出前授業）」の派遣、「県民講座」の助成・支援と、「県民サポーター」の募集についてお知らせします。

「いじめ見逃しゼロキャラバン」の派遣

「県民運動」を支援する構成団体、企業・団体等サポーター、個人サポーター（県内外で活躍する著名人）等がキャラバン隊となって、学校を訪問し、出前授業を通して、いじめに関し、防止の呼びかけや、相談窓口等の周知を行います。

※令和 5 年度の講師及びテーマの例

- ・アルビレックス新潟レディース様
「お互いのいいところを見つけあおう」
- ・森下英矢様（新潟お笑い集団 NAMARA）
「人にやさしく」
- ・TSUNEI 様（シンガーソングライター）
「笑顔までの道のり」



「県民講座」の助成・支援

いじめ問題等に関心をもつことを目的に、学校や市町村、地域コミュニティ等が実施する研修や講演会に、助成・支援を行います。

○財政的支援として、1 件当たり 3 万円を

上限とした講師謝金等の補助をします。

○人的支援として、講師の仲介（個人サポーターや構成団体等に限る）を行います。

※6月に瀬波小学校で開催された、児童・保護者・教職員対象の「インターネット・SNS 講演会」では、財政的支援を行いました。



「キャラバン」「県民講座」申込について

詳しくは、各学校に 2 月中旬以降に送付する、令和 6 年度「いじめ見逃しゼロキャラバン」「県民講座」募集案内を御覧いただき、県教育庁生徒指導課へお申込みください。

「県民サポーター」の募集

県民運動を応援する「県民サポーター」への登録を、広く呼び掛けています。

「県民サポーター」に登録すると、LINE やメールを通じて、個人サポーターなどからの「いじめ見逃しゼロコラム」や、県民運動に関する情報が配信されます。随時、下記の二次元コードからどなたでも無料で登録できます。

<LINE 登録>



<メール登録>



また、県民運動をはじめ、いじめ見逃しゼロに向けた様々な情報は「新潟県いじめ対策ポータル」で御覧いただけます。右の二次元コードを御利用ください。



[お問い合わせ]

生徒指導課 支援・相談班

電話 025-280-5793

キャリア教育の充実

義務教育課

はじめに

将来の予測が困難な時代であるといわれる今日において、児童生徒が夢や希望をかなえるため、自分の将来を設計し、自立して生きる力をはぐくむキャリア教育の重要性は、ますます高まっています。

ここでは、県教育委員会のキャリア教育の取組として、2つの事業を紹介します。

夢創造、ナビゲーション事業

県教育委員会では、毎年7月を「夢創造、ナビゲーション月間」として、キャリア教育の推進を図っています。今年度は、取組が充実するようキャリア教育 Web サイトを開設し、様々な動画を公開しています。各校に配付されている「夢サポート」DVD の動画に加え、昨年度から作成している「新潟県の仕事人」動画を視聴することができます。



【「新潟県の仕事人」動画の例】

「新潟県の仕事人」動画は、県内在住の職業人から、仕事に対する情熱や誇り、挫折体験や成功体験を踏まえた上でのやりがいなど、それぞれの職業観や生き方を学ぶことができます。授業等で活用するために、視聴用のワークシートもあわせて掲載しています。また、学校の授業だけでなく、家庭で保護者とともに視聴しながら、将来のことについて対話を促す活用方法も考えられます。

他にも、「夢創造、ナビゲーション月間」では、児童生徒のキャリア発達を促すためのキャリア・カウンセリングや、県立教育センターの「夢☆チャレンジ」講師派遣などを活用した外部人材

との連携などにも取り組んでいただいています。

また、こうしたキャリア教育の学習においては、「キャリア・パスポート」を効果的に用いて、児童生徒の学習状況やキャリア形成を蓄積するように努めてください。「キャリア・パスポート」の記述を基に、教師や保護者が対話をしながらわかり、児童生徒のキャリア発達を促すことが期待されます。

アントレプレナーシップ教育推進モデル事業

これからの時代、社会や職業の在り方そのものが大きく変化していく可能性があり、こうした時代を生き抜くには、児童生徒一人一人が受け身ではなく、自ら社会課題に挑み、自分の未来を切り拓く力を身に付けなければなりません。

こうした課題意識から、県教育委員会では、今年度からアントレプレナーシップ教育を推進しています。

1 アントレプレナーシップ教育とは

起業家精神	探究心、チャレンジ精神、創造性など
起業家的資質・能力	課題発見・解決力、情報収集・分析力、判断力、実行力、コミュニケーション力、プレゼン力、リーダーシップなど

アントレプレナーシップ教育は、起業家精神と起業家的資質・能力を有する人材を育成する教育です。

これらの力は、起業家（アントレプレナー）に特徴的に見られるものですが、どのキャリア、職業においても必要になってきます。既存の分野においても、激しく変化する今の時代において、新たな価値やイノベーションを生み出す力は必要とされています。

正解が分からない問い、前例のないことに対して、失敗を恐れず挑戦し続けたり、他者を巻き込みながら課題解決に取り組んだりすることで、こうした力が身に付きます。

2 実践を展開するために

アントレプレナーシップ教育の実践には、決まった形や方法があるわけではありません。児童生徒や学校の実態に応じて、地域の資源・人材を活用しながら、様々な実践が生まれてきています。

今年度、推進モデル事業に参加した3校の実践を紹介します。

(1) 胎内市立中条中学校

中条中学校では、ふるさと胎内市の特色と課題を知り、持続可能な胎内市の実現のために、校長を社長とする



「まちづくり会社中条中学校社」を立ち上げ、生徒は、4つの課のいずれかに所属し、現実の地域課題の解決を目指しました。解決方法のアイデアを出しながら、地域のプレーヤー（NPO 法人、大学、専門家等）との連携をして、生徒が考えたアイデアをブラッシュアップしていき、最終的に、地域への発信イベントを開催しました。

(2) 新発田市立東中学校

東中学校では、NPO 法人を授業づくりアドバイザーに迎え、地域の現状と課題を踏まえた総合的な学習を再構成しました。



1年生では「地域探究学習」に、2年生では「課題解決型職場体験」にそれぞれ取り組みました。「課題解決型職場体験」とは、地域の事業所から提示された課題にチームで取り組み、事業所の方々のやりとりを経て、アイデアをプレゼンとして報告する学習です。スタートからゴールまで事業所の方と関わり、実際に事業所や社会から求められている課題と向き合いました。また、学習ログの利活用で、生徒が主体的に学びを調整しながら実践に取り組んでいます。

(3) 三条市立第二中学校

第二中学校では、東中学校と同じように、2年生で「課題解決型職場体験」に取り組みました。

3年生は、地域課題を探り、その解決のためのアイデアを提案する学習に取り組みました。途中、

起業をサポートする専門家とのやりとりを経て、アイデアをブラッシュアップする過程を大



切にしました。最終的に、すべての解決策をプレゼンするとともに、それぞれのアイデアに模擬的に投資することで、相互評価をしました。

アントレプレナーシップ教育実践のポイントは次のとおりです。

- ・ 学校外の実社会とつながる
- ・ 児童生徒が自ら課題発見をする
- ・ 失敗の経験を次につなげる

モデル校をはじめ、先行的に取り組んでいる学校では、模擬的な会社を設立したり、商品開発を行ったりする実践もありますが、必ずしもそれらの活動がなければ、アントレプレナーシップ教育にならないというわけではありません。アントレプレナーシップ教育実践のポイントを踏まえて、既存の教育活動を見直したり修正したりして、魅力的な実践を展開してください。

おわりに

既存の考え方や方法に適応するだけでなく、よりよい枠組みや新たな価値を生み出していく力の育成が、ますます重要になっています。児童生徒だけでなく、教職員も、自ら課題を見つけ、新たな価値を生み出す担い手として期待されています。

今後もモデル校の取組を拡充するとともに、実践や成果を発信するなどして、キャリア教育の充実を図っていきます。

【お問い合わせ】

義務教育課 人権教育班

TEL:025-280-5607

令和 5 年度専門高校ジョイントミーティング

高等学校教育課

はじめに

「専門高校ジョイントミーティング」は、県内の専門高校等における学習成果を学校・学科を越えて共有し、各校の教育活動の充実に資することを目的に開催しています。

令和 5 年度は、「新潟県教育の日 (11 月 1 日)」の関連イベントとして、「新潟県高校生探究フォーラム」と合同で、11 月 18 日 (土) にシティーホールプラザアオーレ長岡を会場に開催し、本県の教育活動を広く県民に伝えるため、一般に公開しました。

当日は、農業・水産、工業、商業、家庭、総合の各学科の代表生徒、計 28 人 (各校 2～10 人) が専門高校等の学びの成果をプレゼンテーション形式で発表する学習成果発表と、各学科の取組を体験できるブースを開設し、専門分野に関する学びを公開、共有しました。

研究発表の概要

各学科の発表と演示の題目は次のとおりです。

1 学習成果発表

学校名	発表題目 (*下段:内容)
長岡農業 高等学校	酒造り復活計画～序章～
	発酵食品の開発、地域とのつながり
新津工業 高等学校	学ぼう『匠』の技と心!
	高校生による県立植物園東屋製作
新発田商業 高等学校	LINKAGE～商店街の wicked problem はアカデミックに乗り切ろう!～
	大学等と連携した新発田商店街活性化
新潟中央 高等学校	あつまれ!食でつながる第二の家 子ども食堂
	子ども食堂による支援内容の調査・研究
栃尾 高等学校	地域創生の取組～チーム栃高による地域の課題解決策～
	高校生による栃尾地域の課題解決

2 体験ブース

学校名	演示題目 (*下段:内容)
長岡農業 高等学校	食品加工と活性炭 ろ過実験の体験
	コースターづくり
新発田商業 高等学校	鮑(かんな)によるコースターづくり体験
	「ふくら」は続くよ、どこまでも♪ ～美味しいアイデアでイベント復活～ 高校生が企画・運営したイベント紹介
新潟中央 高等学校	素敵にテーブルコーディネート ～折って華やか! ナブキンの折り方いろいろ～ ナブキンの折り方体験
	学習内容や地域貢献活動の紹介および工作教室 ペン立て製作体験

学習成果発表及び体験ブースは、多くの生徒や参加者を交えた交流の場となりました。質問や感想などを生徒が自らの言葉で伝えることにより、探究的な活動に対する理解が深められ、新たな気付きを生み出す機会になりました。



【学習成果発表の様子】



【体験ブースの様子】

おわりに

参加した生徒からは、「いろいろな学校や参加者と交流ができ、お互いの学びについて理解が深まった」等の感想が寄せられました。今後も専門高校等の特色ある取組を支援するとともに、探究的な活動を推進してまいります。

【お問い合わせ】
高等学校教育課 指導第 2 係
電話 025-280-5612

スーパーサイエンスハイスクール（SSH）事業

高等学校教育課

はじめに

「スーパーサイエンスハイスクール（SSH）」事業は、先進的な科学技術、理科・数学教育を通じて生徒の科学的能力や科学的思考力を培うことにより、将来社会を牽引する国際的な科学技術人材を育成することを目的として、文部科学省が実施する事業です。令和 5 年度は、全国で 218 校の高等学校等が指定を受け、理数教育に重点を置くなどしたカリキュラムの開発・実践や課題研究の推進、観察・実験等を通じた体験的・問題解決的な学習等に取り組んでいます。

県内の SSH 指定校の主な取組

新潟県内では、新潟南、新発田、長岡、柏崎、高田高等学校の 5 校が SSH として指定されています。各校が、それぞれ次のような研究題目を設定し、特色のある教育活動に取り組んでいます。

<新潟南高等学校>

「未来イノベーションを牽引する、科学技術系グローバル人材の育成プログラム」

全校生徒を対象として探究型の活動を行い、オンラインを活用して海外の同世代の高校生と成果発表会や討論を行っています。

<新発田高等学校>

「課題研究の質の向上により、生涯にわたって活用できる科学的探究力の育成 ～社会の諸課題に主体的・協働的に取り組み、地域・世界で活躍する「未来の俊傑」を育てる～」

科学的探究力を深めるデータリテラシー及び英語を活用したコミュニケーション力を育成する学校設定科目を実施しています。

<長岡高等学校>

「未来の国際社会をリードする科学技術人材の育成～長岡高校 SSH カリキュラムの改善と生徒交流の拡大～」

長岡高校が中心となり、7月に県内外の SSH 指定校と、近隣の中高生がアオーレ長岡に集い、研究成果を発表したり、実技課題に挑戦したりする「新潟県 SSH 生徒研究発表会」を開催しています。

<柏崎高等学校>

「柏崎の地域資源を活用し、科学的リテラシーと科学的探究力を有し将来の科学技術イノベーションを担う人材の育成」

3年間、全校生徒を対象とした探究型の活動を行うことで、課題を探究する力を育成しています。また、韓国の科学重点校である新道林高校と研究交流を行っています。

<高田高等学校>

「探究する高田～科学的探究による深い思考力と国際交流による高い表現力の獲得、そして世界に向けた『第一義』の追求～」

大学や研究所等関係機関と連携して理数教育の発展的内容を学び、専門家からの指導助言を生かし探究活動を行っています。

おわりに

各 SSH 指定校においては、生徒の探究的な学びや活動が活発に行われています。県教育委員会では、SSH の先進的な取組により、新潟県から将来のイノベーションの創出を担う科学技術関係人材が育ち、周辺の高齢者等へ広く発信されるよう、引き続き SSH 指定校の取組を支援していきます。



【課題研究 研究成果の発表会の様子】

[お問い合わせ]

高等学校教育課 指導第 1 係
電話 025-280-5611

多様な教育的ニーズに応じた県立教育センターの 研修講座

県立教育センター

はじめに

県立教育センターでは、教育の質を向上させ、地域社会の発展を促進するため、幅広い分野で専門的かつ多様な研修講座を提供しています。

ここでは、令和 5 年度に行った新たな教職員研修・講座などの様子とその成果について、抜粋して紹介します。

新たな研修・講座の紹介

1 子供の教育的ニーズに応じた特別支援教育講座（オンデマンド講座）

本講座は、特別支援教育の基本的内容の理解と指導力の向上を図ることを目的に、小・中学校、高等学校、特別支援学校の教諭等を対象に実施しました。受講者は 6 月～10 月の受講期間の中から受講日を決め、自校にて特別支援教育に関するオンデマンド講義動画を視聴し、研修記録をまとめました。

受講者の研修記録の一部を紹介します。

【小学校教諭】講義「自立活動の指導」

・自立活動の 6 区分 27 項目による個別の指導計画の作成手順がよく分かった。

【中学校教諭】講義「特別支援学級の教育」

・困難さを克服するための個に応じた指導・支援に向けて、実態把握を大事にしたい。

【高等学校教諭】講義「合理的配慮」

・配慮が必要な生徒をチームで支援し、生徒に寄り添い、環境を整えていきたい。

【特別支援学校教諭】講義「センター的機能」

・特別支援学校が行う小・中・高等学校の教員等への支援の重要性を強く感じた。

このほかにも「長期休業中に繰り返し視聴できた。」「校内研修で実施したい。」等の声も寄せられ、次年度はより多くの受講者のニーズに応じて、研修内容を拡大する予定です。

2 校内 ICT 活用促進講座 I（理論編：オンデマンド講座）・II（実践編：オンラインライブ講座）

本講座は、校内における ICT の効果的な活用方法についての理解を深め、校内 ICT 研修の企画・運営や他の職員をサポートするための資質の向上を図ることを目的に、小・中学校、高等学校、特別支援学校の教諭を対象に実施しました。1 日目「理論編」は人数無制限のオンデマンド型研修、2 日目「実践編」は「理論編」を受講した教諭を対象とし、自校にて Web 会議システムを利用して行うライブ型の講座として実施しました。

1 日目「理論編」では、受講者は学校における ICT 活用の現状と課題や効果的な活用方法、校内研修の在り方についての理解を深めながら、自校の実態に合わせた ICT の活用促進のための方策について記録をまとめました。

2 日目「実践編」では、1 日目「理論編」を受講した際に作成した資料をもとに、実践発表を行い、ICT の効果的な活用方法や校内研修の在り方について、それぞれの勤務校の実態をもとにした協議を行いました。

オンデマンド型の研修では、指定された期間内に研修動画を視聴し、課題レポート作成等の作業を行います。集合することなく自校で研修を受講できるため、移動による負担が少なく済みます。また、受講者の都合に合わせて日程を設定できる点もこの研修形態の良さです。

受講者からは、「実施期間が長く、自分で好きな日時を選んで学べるスタイルがとてもよかった。」「もう一度聞きたいところ、確認したいところを繰り返し学習できてよかった。」など、オンデマンド型の良さを評価する声が多く寄せられました。

3 アントレプレナーシップ（起業家精神） を育むキャリア教育推進講座

社会が大きく変化する中で、これまで一定の成果をあげてきたキャリア教育をベースとして、児童生徒にチャレンジ精神、創造性、探究心等を育むアントレプレナーシップ教育を推進する指導者を養成するため、今年度新たに開講しました。

本講座は、アントレプレナーシップ教育について理解を深めるとともに、県内における取組の現状や課題を把握し、各学校における指導に生かす具体的方法を学ぶことを目的としています。新潟大学の伊藤龍史准教授からアントレプレナーシップ教育の理論と実践について御講義いただき、その後、刈羽村立刈羽中学校の実践発表、アントレプレナーシップ教育の視点で自校のキャリア教育を見直すための協議を行いました。

受講者からは、「アントレプレナーシップが、必ずしも会社の立ち上げという狭い意味でなく、主体的に課題を見つけ解決を図る姿勢という広義のものとして捉えてよいということがわかった。」などの感想が寄せられました。



【講義「キャリア教育で育むアントレプレナーシップ（起業家精神）」の様子】

4 学校管理職マネジメント研修（幼・小・中・特）（オンデマンド研修）

学校経営における、組織マネジメントの考え方や危機管理の在り方等について理

解を深め、管理職として資質・能力の向上を目的とし、今年度から新たに幼稚園、小・中学校、特別支援学校等の管理職を対象に実施しました。

約 1 か月の期間中、1058 名の受講者が自校で研修動画を視聴するオンデマンド型研修として実施しました。

受講者は講義動画「学校マネジメントにおける留意点」「学力向上の取組について」「特別支援教育の推進について」を視聴し、県全体の取組や方策を確認するとともに、自校の取組の見直しや改善に向けた手立てを考える機会となる研修としました。

受講者からは、「最新の動向や知見を得ることができ、とても有意義な研修となった。」「学校マネジメントの基本的事項や重要事項を再確認することができた。自校の職員にもぜひ周知したい。」などの感想のほか、オンデマンド型研修の利点や年 1 回以上の県全体の取組の理解を深める機会の継続を求める声が寄せられました。

学校マネジメントにおける留意点 ◀働き方改革に関する項目

働き方改革推進プラン
教職員の時間外の在校等時間の上限
一月45時間以内、一年360時間以内

- 客観的な勤務時間の記録
- 長時間在校している教職員の面談
- 次の時間は、自己申告に基づいて除外
 - ・自己研鑽の時間
 - ・その他業務外の時間
 - ・休憩時間
- 休暇を気兼ねなく取得したり計画的に年休を取得したりできる環境づくり

おわりに

集合して行う研修では対面で意見交換を行う利点があります。また、オンラインを活用した研修では、勤務校で研修を受講できるようになることで、移動時間に係る負担は大きく減らします。

今後も教育の質の向上、地域社会の発展を促進するため、集合型、オンライン型それぞれの良さを生かしつつ、より良い研修の運営を目指していきます。

[お問い合わせ]

県立教育センター

TEL : 025-263-1094 (代表)

インフォメーション

● 県立万代島美術館 (新潟市)

■ JUNKO KOSHINO コシノジュンコ 原点から現点



展覧会メインビジュアル

世界的ファッションデザイナーであるコシノジュンコの過去最大規模の展覧会。その創造の原点である高校時代のデッサンから、「対極」というデザインコンセプトを通じて創出した世界観、琳派や能との協演など、現在までの活動の全貌をご紹介します。

- 会 期 2月22日(木)～5月26日(日)
- 開館時間 午前10時～午後6時
(観覧券の販売は午後5時30分まで)
- 観 覧 料 一般 1,600円(1,400円)
高校・大学生 1,300円(1,100円)
中学生以下 無料

※()内は有料 20名以上の団体料金。
※障害者手帳をお持ちの方は観覧料免除。

■ 休館のお知らせ

2月21日(水)まで、施設改修工事・展示替えのため全館休館いたします。

県立万代島美術館
住所 新潟市中央区万代島 5-1 朱鷺メッセ内
万代島ビル 5階
TEL 025-290-6655
URL <https://banbi.pref.niigata.lg.jp/>

● 県立近代美術館 (長岡市)

■ 行為と詩情—ACTION & POETRY

特別展示：尼崎市コレクション 白髪一雄
白髪一雄の作品を全国の美術館で紹介していく兵庫県尼崎市の「白髪一雄発信プロジェクト」と共同し、当館コレクションとのコラボレーションにより、何ものにも囚われない自由に表現された身体と精神との痕跡を見ます。



白髪一雄《天女の舞》2000年 尼崎市蔵

- 会 期 開催中～2月25日(日)
- 休 館 日 月曜日 (祝日の場合は翌平日)
- 開館時間 午前9時～午後5時
(観覧券の販売は午後4時30分まで)
- 観 覧 料 一般 1,000円 (800円)
高校・大学生 800円 (600円)
中学生以下 無料

■ 作品解説会

2月10日(土)、2月25日(日) 午後2時～
当館企画展示室にて / 申込不要
参加には本展の当日観覧券が必要です

■ 開館30周年記念 コレクション展 第4期

- 会 期 開催中～3月31日(日)
- [展示室1・2] 近代美術館の日本画の名品
- [展示室3] 反戦への思い
- 観覧料 一般 430円 (340円)
高校・大学生 200円 (160円)
中学生以下 無料

※()内は有料 20名以上の団体料金です。

県立近代美術館
住所 長岡市千秋3丁目 278-14
TEL:0258-28-4111
URL: <https://kinbi.pref.niigata.lg.jp/>

● 県立歴史博物館（長岡市）

冬季テーマ展示
「越後の木綿 いまむかし」

暖かく、加工しやすい木綿は、江戸時代以降、布団や綿入れ・仕事着に広く用いられ、各地で特徴のある衣生活が生み出されました。また、江戸時代後期以降、自家用だけでなく、各地に綿織物の産地が形成され、東北地方や北海道にも販路が広がられていきました。

本展示では、綿織物の見本帳や仕事着など、県内各地の資料館や博物館が所蔵する資料から、木綿と越後の人びとのかかわりを紹介します。また、近年、越後の綿織物の再評価に取り組む人々の活動を紹介します。



魚売りに行く際によく着られていた上衣
ツギコシドンザ（新潟市西蒲区間瀬）/当館蔵

- 会 期 2月25日(日)まで
- 休 館 日 月曜日(祝日の場合は翌日休館)
- 開館時間 午前9時～午後5時
(観覧券の販売は午後4時30分まで)
- 会 場 県立歴史博物館 企画展示室
- 観 覧 料 常設展観覧料でご覧いただけます
(一般 520 円
高校・大学生 200 円
中学生以下無料)

※学校団体でご観覧の場合は、新潟県内の学校は無料です。事前にお申込みください。

◆ 関連イベント
体験プログラム「亀田縞くるみボタンを
作ろう」

亀田縞の布を使って、
くるみボタンを作ります。



- 日 時 2月11日(日)、18日(日)、25日(日)
午後1時30分～午後3時30分
(受付は午後3時まで)
- 会 場 常設展示室内体験コーナー
- その他 体験無料、事前申込不要
※常設展観覧券が必要です

県立歴史博物館
住所 長岡市関原町1丁目2247-2
TEL 0258-47-6130
URL <http://nbz.or.jp/>

● 県埋蔵文化財センター

第 27 回遺跡発掘調査報告会

- 期 日 3月3日(日)
- 会 場 県埋蔵文化財センター
- 定 員 会場 80 名 (当日先着)
オンライン 100 名
(2月29日(木)正午まで HP で受付)

※参加無料

- (1) 2023 年度調査成果報告
(午前 10 時～12 時)
 - ・村上市上野遺跡
 - ・南魚沼市六日町藤塚遺跡
 - ・南魚沼市金屋遺跡
 - ・上越市下割遺跡
- (2) シンポジウム「柏崎市丘江遺跡の木製塔婆から
みた中世の葬送」
(午後 1 時～4 時)
 - ・柏崎市丘江遺跡の金箔が押された木製塔婆
 - ・新潟県の板碑
(水澤幸一氏・中世考古学研究者)
 - ・木製塔婆からみる中世の葬送墓制
(狭川真一氏・大阪大谷大学)

※詳細は HP で確認ください

新潟県埋蔵文化財センター
住所 新潟市秋葉区金津 93 番地 1
TEL 0250-25-3981
FAX 0250-25-3986
URL <https://www.maibun.net/>

●観光文化スポーツ部文化課
「YouTube『新潟ステージチャンネル』
で、児童・生徒向けレクチャー動画を
公開しています。

新潟県文化祭 2023 にて実施したステージ公演、アウトリーチ（出前教室）の様子や児童・生徒向けのレクチャー動画を「新潟ステージチャンネル」でご覧いただけます。

音楽や総合学習などの事業に活用し、児童・生徒の感性を磨くツールとして是非ご活用ください。

YouTube

「新潟ステージチャンネル」→
※一部動画は 3 月 31 日までの
限定公開です。



藝大フィルハーモニア管弦楽団



新潟シンフォニエッタ TOKI（弦楽）



太鼓芸能集団 鼓童(和太鼓)

新潟県観光文化スポーツ部文化課
芸術文化振興室
住所：新潟市中央区新光町 4-1
TEL：025-280-5139
公式サイト：
<https://n-story.jp/bunkasai/>
新潟ステージチャンネル：
<https://www.youtube.com/@user-bo8d16jq1n/featured>

発行所 新潟県教育庁総務課
所在地 〒950-8570
新潟市中央区新光町 4 番地 1
電話 025-280-5587
FAX 025-285-3766
E-mail ngt500010@pref.niigata.lg.jp
Web 版 URL：
<https://www.pref.niigata.lg.jp/site/kyoiku/>
本紙に関する御意見がありましたら、お寄せください
<無断転載を禁ず>

※PDF ファイルで御覧の方は、下線部(Web ページアドレス)をクリックすると、直接該当 Web ページにジャンプしますので御活用ください。
※県ホームページからバックナンバーも御覧いただけます。「新潟県 教育月報」で検索してください。